別紙２

≪　自治労・団体生命共済抜本改正　単組事務負荷軽減策に対する単組意見集約表　≫

（2021年2月25日現在）

１．申込受付事務について

No.	単組名	意　見　の　内　容	意見概要と採用先	採用
1	大玉村職	毎年共済担当が替わる為、多岐にわたる共済を理解するのは困難である。組合員自らがスマートフォンにより簡単に掛金試算比較ができる環境を整えてほしい。	スマートフォンによる掛金試算【採用先1-①】	○
2	桑折町職	掛金変更があった際、わかりやすいお知らせがあると良いと思います。	掛金変更の際の分かりやすいお知らせ【採用先１－④】	○
3	矢祭町職	職域web未導入単組についてはホームページ利用を基本とするとのことだが、運用する前には事前に利用方法について、充分な説明を頂きたい。	ホームページ利用方法の充分な説明を【採用先1-③】	○
4	会津若松市職	① 組合員本人が、スマートフォン等で簡単に掛金試算や、年齢に応じた必要保障のシミュレーションができたのなら提示願いたい。 ② スマートフォン等で組合員が試算したものを保存し、共済担当者が別端末機で組合員から依頼のあった保存データを呼び出し、申込書として出力できればいいと思う（補償内容の変更も可）。	①スマートフォン版の入出力画面の提示を【採用先1-①】 ②データの保存・変更と申込書出力【採用先1-②】	○
5	いわき市職連合	① 新制度移行時から、本部から自宅へ送付し、組合員から本部へ提出する流れとすること（単組提出も受け付けるが、基本は本部返送とする）。 ② 切替加入募集時には、申込書に「おすすめプラン」（現契約をもとに抽出）として型・コース・掛金に保障額も含めて印字した申込書をもって申込受付事務を行えるようにすること。また、記載する「おすすめプラン」は、Ⓐ「現掛金と同額パターン」、Ⓑ「現保障と同保障パターン」など複数記載すること。 ③ スマートフォンによる掛金試算を可能とすること。 ④ 単組にはＨＰや制度の説明など関連したツールが設定されたタブレットを必要台数分貸与すること。	①契約者と本部間を直送で【採用先1-⑥】 ②おすすめプランの複数記載【採用先1-⑤】 ③スマートフォンによる掛金試算【採用先1-①】 ④単組へのタブレット貸与【採用先1-⑦】	○

２．掛金収納事務について

No.	単組名	意　見　の　内　容	意見概要と採用先	採用
1	南会津町職	毎月の当月掛金額（送金額）の県支部報告について、総括票のみによる報告となる事は賛成です。	総括票のみの報告は賛成【採用先2-①】	○
2	いわき市職連合	① 単組webでも個別検索は出来るが、単組加入者の掛金一覧や月毎の単組掛金一覧と詳細が閲覧できる、長期共済、税制適格年金の解約返戻金の計算が出来るなど、使い勝手を良くして欲しい。 ② 単組で掛金のずれをチェックできるよう、掛金データについては、本部のデータを毎月共済担当へEXCELで提供してほしい。 ③ 申込受付事務にも関わることであるが、単組においては、紙ベースでの申込みに加え、PCやスマホ・タブレットで申込書を作成し、契約（電子署名）まで一連の手続きが完了できるようにすること。	①単組WEBの使い勝手向上【採用先2-②】 ②掛金チェック用データの毎月の連携【採用先2-③】 ③システム上で完結できるように（電子署名等）【採用先1-②】	○

３．退職者団生事務について

No.	単組名	意　見　の　内　容	意見概要と採用先	採用
1	大玉村職	退職者が見て問い合わせ先が分かるようなパンフレットがほしい。	問い合わせ先が分かるパンフ【3-②】	○
2	矢祭町職	移行加入時の事務は単組を窓口となっているが、制度が複雑で退職者への説明がしづらい。要望があれば一人の場合でも県支部等職員が来庁し、個別説明などをして頂けると助かる。	県支部等職員による個別対応【県支部への意見につき×と記載しています】	×
3	古殿町職	退職者（予定者含む）へ問い合わせ先の周知徹底	問合せ先の周知徹底【採用先3-②】	○
4	会津若松市職	① 本部対応となっていますが、必ず単組に問い合わせが想定される。単組では、退職説明時に丁寧な説明が求められると思うので、退職時に医療を継続された方には、参考までに将来の年払いの掛金も提示願いたい。 ② 退職者（高齢者）が見てわかりやすいチラシ等をお願いしたい。	①退職時における将来の掛金提示【採用先3-①】 ②わかりやすいチラシ等【採用先3-①②】	○
5	南会津町職	県支部意見と同じです。		○
6	いわき市職連合	① 退職者団生（既加入者）に対する新制度の案内や申込み書類については、本部から既加入者へ直送でお願いしたい。（提出先も本部を基本とする） ② 切替加入募集時には、申込書に「おすすめプラン」（現契約をもとに抽出）として型・コース・掛金に保障額も含めて印字した申込書をもって申込受付事務を行えるようにすること。また、記載する「おすすめプラン」は、Ⓐ「現掛金と同額パターン」、Ⓑ「現保障と同保障パターン」など複数記載すること。 ③ 単組への直接の問い合わせに対応できるよう、退職者団体生命共済へ移行したかどうかの情報だけではなく、最低限「契約内容・保障内容」についての情報は、職域WEBで確認できるようにしてほしい。	①申込書類の既加入者への直送（本部への提出）【採用先3-④】 ②申込書へのおすすめプラン（現掛金同額と同保障等）の表示【採用先3-⑤】 ③契約内容・保障内容が確認できるように【採用先3-③】	○

４．その他、事務全般について

No.	単組名	意　見　の　内　容	意見概要と採用先	採用
1	桑折町職	① 退職予定者の説明に来てくださりありがたかったです。 ② 1月より担当を引き継いだため、まだよくわからない状況です。前担当より、掛金変更等で、収納金の誤りを教えていただいたが、早めに知らせていただくと助かるとの話がありました。	②掛金収納額等の誤りの早めの連絡【採用先2-③】	△
2	矢祭町職	県支部・単組が1つのシステムを利用し、組合員の契約内容の確認や処理が出来るシステムがあるととても便利だと考える。	県支部・単組が同一システムで対応できるように【採用先3-③】	○
3	天栄村職	事務の簡素化、利便性の向上を求めます。分かりづらい表現・文言の適正化により、理解し易いマニュアル等の作成をお願い致します。	分かりやすいマニュアル等の作成【採用先4-③】	○
4	いわき市職連合	① 新制度パンフレットの団生掛金について、年齢別、性別ごとに「最低掛金」の保障をスタート掛金に表示した方が良い。（必要な保障を削るのではなく、プラスしていくようにする。） ② 抜本改正の初年度だけでも、団体生命共済のみのパンフレットがあれば説明しやすいのではないかと思う。 ③ 県支部・単組担当役職員が一つのシステムで全て確認・処理できるようにしてほしい。（マイカー共済も含めてお願いしたい。） 【以下3/3追加意見⇒県本部意見書は提出済につき反映無】 ④ 保障内容を「こくみん共済」の商品をベースにすることで、「中途退職者や子どもが独立しても移行しやすい。」「移行時や更改期に全労済職員の方が制度を理解しているため相談の窓口も担ってもらえるため単組の負担が軽減される。」「保障内容データやパンフレットやチラシなどの媒体が少しの手直しで活用できる」等、全体的に加入推進や事務軽減を図るうえで効果がある。 ⑤ 共済も資産運用の一助を担う商品としてなるべき、長期共済などと合わせ、若年層にも入りやすい商品説明や公務員として最低限必要な保障はどれくらいなのか、共済組合の一部負担金払戻金などを含め、パンフレットには本当に必要な参考となる保障データを掲載してほしい。	①パンフレットへの掛金の表示を全年齢・性別とも最低掛金から記載する。【採用先4-④】 ②（継続募集用の）団体生命共済のみのパンフ作成【採用先４－④】 ③マイカー共済も含めて同一システムで確認・処理できるように【採用先４－②】	○

【意見無報告】　国保連労組
小野町職、白河広域職、東白衛生職労、塙町職
広野町職